

# 小丸山公園、小丸山交差点入口

「ぐるっと7」の旅の途中、能登総合病院または七尾駅で降車して、電動車いすで小丸山公園まで走り公園内を散策して来ました。



小丸山公園、小丸山交差点入り口。石碑

撮影中は小丸山交差点入口が、小丸山公園の正面と思っていましたが、裏入口であり、正面は馬出町の裁判所の方です。



小丸山公園立て看板



立て看板の小丸山城跡図

天正九年（一五八一）八月、織田信長より能登一國を与えられた前田利家は、翌十年正月より小丸山城を築城した。城は東西八〇尺、南北七二尺、高さ二五・六尺の本丸を中心に天性丸（第二公園）、宮丸（愛宕山）、大念寺山（御貸山）の四つの砦で構成された。

七尾市街地を東西の袖ヶ江、御被地区に分ける御被川は、小丸山築城の際に、能登国中の十五歳から六〇歳までの男を五日間夫役させて振りあげた掘割りである。

宮丸には愛宕神社が建てられた。愛宕の神は火伏せの神で城下町の防火を願い、本持は勝軍地蔵なので軍に勝つということから戦国武将に信仰された。利家も兜の中に二ツ程の銅製の勝軍地蔵を秘めて戦いに出たと伝えられ、その像は今でも尾山神社に遺されている。

近年の調査で、本丸に巽櫓と坤櫓が建てられていたことが判明し、小丸山城の充実ぶりが窺える。

利家は、天正十一年四月の賤ヶ岳合戦後、豊臣秀吉より能登一國に石川・河北両郡を増されて金沢城へ移った。利家の兄五郎兵衛安勝は、金沢城代になると共に、小丸山城主となり、町奉行の三輪藤兵衛吉宗・大井久兵衛等と能登の支配に当たった。元和二年（一六一六）の一國一城令により廢城になったと伝える。

立て看板の小丸山城の歴史

# 花見時期の小丸山公園

以下の写真は、2011年4月に苑から花見に出かけたときの様子です。



小学生が花見遠足



桜の周囲には商店街の広告入りのぼんぼりが立ち並び、染井吉野のなかに紅桜が引き立っている。



満開の桜に囲まれた「日像菩薩銅像」



日像菩薩銅像縁起



満開の桜の下で

# 小丸山公園内散策②

# 昭和60年 全国高校総体相撲大会記念碑

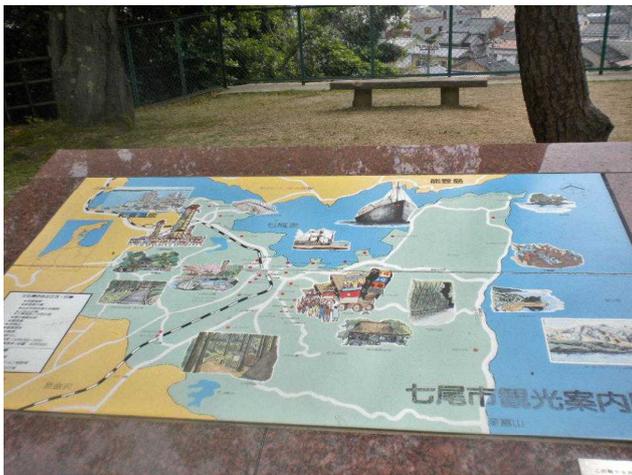


小丸山公園にはトンビがいます。以前、バーベキューして肉を取って行かれました。

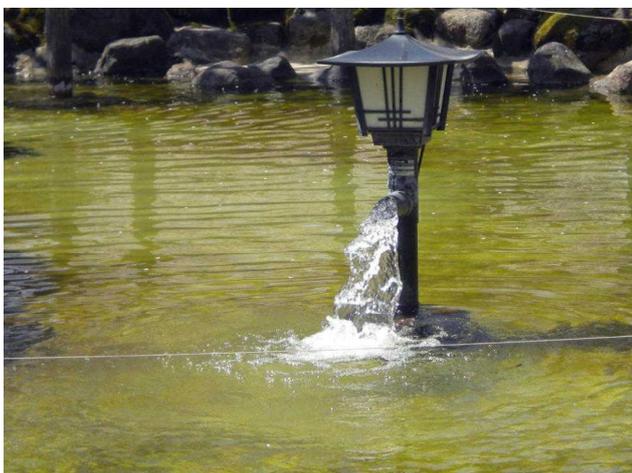


「石川の大地に流せ 君の汗」をスローガンに開催された高校総体。七尾では小丸山公園の相撲場で相撲競技が行われました。

昭和60年は「青山彩光苑」が開設され、「HSK季刊わたぼうし」が創刊された年です。



地面に設置の「七尾市観光案内地図」



# 小丸山公園内のバリアフリー

小丸山公園内のバリアフリーを見て歩きました。多目的トイレが二カ所ありますが、便座が低いので車いす利用者にとっては、使い勝手が悪いと思います。

## 新多目的トイレ



新多目的トイレの正面



新多目的トイレの入り口ドア



← 手を触れるだけで水が出る洗面台。

便座が低く、車いすでは使用しにくいトイレ →

## 旧多目的トイレ



左:女性用 右:男性用



女性用車いすトイレ。上の赤ランプは緊急事態連絡用です。



男性用車いすトイレ。車いすマークの下に「どなたでもお使い下さい」と書かれている。

# 最終取材目的地は七尾駅 駅の取材に辿り着きは、いつなのかな？



J R 七尾駅・時計も新しく設置



「ミナ・クル」前の長谷川等伯像



J R 七尾駅前 バス乗車券発売所



今年一年間、ご協力して下さった地域の皆さん、ありがとうございます。  
来年も皆さんとの「ふれあい、出会いを求めて」  
七尾市内を歩きますので、よろしく願います。 富雄・善一



# 2013年は 寿町、食祭市場前からスタート

